

福津市のコミュニティスクール

福津市では、学校・家庭・地域が連携・共働し、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進しています。

福津市のめざす子ども像

志をもち 未来をたくましく切り拓く子ども

コミュニティ・スクールとは？

学校と家庭と地域がともに同じ目標に向かって、知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させながら、連携・共働して子どもたちの豊かな成長を支える仕組みのことです。

その中心的な役割を担っているのが「学校運営協議会」です。

本市のコミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い、共働しながら、相互に責任を果たす共働・責任分担方式をすすめています。

福津市コミュニティスクールの基本理念

行きたい学校
帰りたい家庭
住みたい地域

福津市のコミュニティ・スクールの仕組み

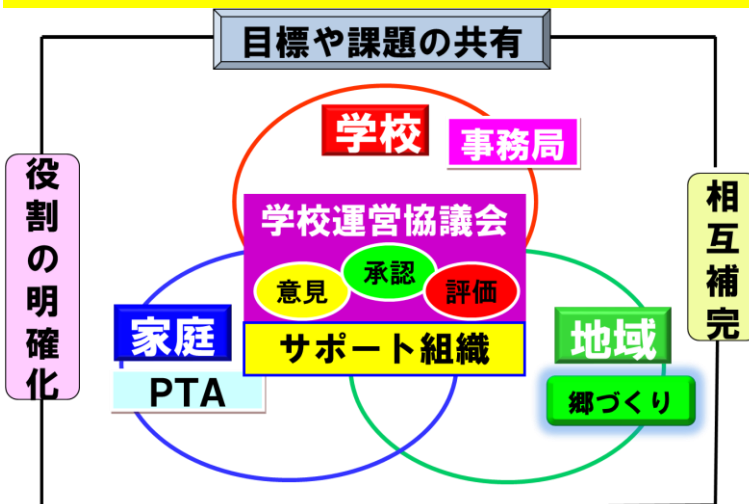


【「共働」の表記について】

「協働」とは情報や課題を共有し、共に汗を行動すること。福津市では、それぞれが「対等な立場で一緒に」という意味を込めて、「共働」という表記にしている。
(「福津市総合計画」から抜粋)



福津市のコミュニティ・スクールの概念図



学校運営協議会について

学校運営協議会を各学校に設置して、サポート組織と共に様々な事業の企画・運営をしています。

〈学校運営協議会の役割〉

- ◆校長の作成する学校運営の基本方針を承認します。
- ◆学校運営に関する意見を校長に述べるができます。
- ◆学校関係者評価委員として学校運営の改善を図ります。

これからの福津市のコミュニティ・スクール

地域学校協働本部との連携・共働

福津市ではコミュニティ・スクール導入期から、学校運営協議会を軸に、学校・家庭・地域が連携・共働し、子どもを育てる仕組みとしての「地域とともにある学校づくり」を推進してきました。

定着期・充実期・発展期を経て、令和3年度には新化期を向かえました。そこで、教育の質的向上をめざして、「地域学校協働本部」を設置し、地域と学校がパートナーとして「地域学校協働活動」を推進することで、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、地域の活性化を図る「学校を核とした地域づくり」をめざしています。

地域と学校の「連携・共働」の仕組み



更なる地域と学校の連携・共働に向けて

地域学校推進員（地域コーディネーター）の役割

地域と学校の連携・共働の推進に重要な役割を果たしていただいているのが、「地域学校協働推進員（地域コーディネーター）」の皆様です。

福津市では、平成30年度には市内全小・中学校に地域コーディネーターを配置し、子どもたちと地域をつないで教育活動をサポートしたり、ボランティアのとりまとめをしたり等、様々な場面で活躍していただいています。

令和3年度からは、中学校区をまとめる「統括コーディネーター」をおき、小中がより連携して教育活動を行えるよう、活動していただいています。

学校と地域社会をつなぐ役割を果たします

学校運営協議会の活動をサポートする。

学校と地域の状況を把握し、効果的な取組が行われるようにサポートします。

- ①学校の支援要望把握と地域との連絡・調整
- ②学校支援ボランティアの発掘・組織化
- ③地域住民への広報・啓発
- ④ニーズの掘り起こし
- ⑤プログラムの開発、活動のルールづくり
- ⑥活動後のフォローアップ等

「新化期」のコミュニティ・スクール

- ◆中学校区の特徴を生かし、小中9年間を見通した連続性のある教育活動と指導体制の研究（異校種交流や教科担任制の導入等）に取り組みます。
- ◆地域学校協働本部の充実・発展を通して、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の双方向から推進していきます。
- ◆統括コーディネーターの導入と活用を推進していきます。
- ◆地域人材バンクを構築します。

中学校区ごとの小中9年間を見通した連続性のある教育活動の推進

福間中学校区

地域の大人を巻き込んだ「社会力」育成教育

- 未来会議、回し読み新聞、トークフォークダンス、ワールドカフェ、ESD
- 西郷川環境学習、海岸清掃、松林清掃・保全等のボランティア活動の推進
- 防災機能を備えた開放型施設の整備

福間東中学校区

人とのつながりを広げ深める「人権感覚」育成教育

- 「誰一人取り残さない」神興教育の実践
- 地域の活性化、地域活動の持続可能性を図る地域参加・参画の取組
- 小中9年間の枠組を超えた保幼・小・中・高との接続を図る教育実践

津屋崎中学校区

地域の歴史・伝統・自然に学ぶ「地域愛」育成教育

- 世界遺産と地域の伝統行事に学ぶ教育実践
- 地域とともに行う防災教育の実践、推進
- 地域コーディネーターを核とした学校地域協働活動のモデル的実践

コミュニティ・スクールの取組

地域とともに学ぶ活動

- 地域の伝統・文化を学ぶ学習
(山笠・人形浄瑠璃・獅子楽・土の教育等)
- 世界遺産・歴史学習
(古墳群・神社・定札等)
- 福祉学習
(民生委員・高齢者・ユニバーサルデザイン等)
- 体験学習
(米や大豆作り・昔遊び等)
- 防災教育、環境教育、まち探検 他多数

☆ゲストティーチャーなど
地域の方との連絡・調整な
どを地域コーディネーター
さんが行っています。



など

地域に貢献する活動

- 3中合同海岸清掃
- 地域合同防災避難訓練
- 松林保全活動クリーンランド大作戦
- ふくまねき年賀状大作戦
- 西郷川ゴミ拾いボランティア



など

コミュニティ・スクール推進事業 (市内住民への周知等)

- コミュニティ・スクール実践交流会
(中学校区ごとの発表会)
- コミュニティ・スクールグランドデザイン
説明会・報告会
- コミュニティ・フェスタ
(令和4年1月29日(土)開催予定)
- 中学生未来会議

など

子どもを見守る・育てる活動

- みまもり隊による登下校の安全確保
- 地域一斉あいさつ運動
- 地域一斉防災訓練
- 赤ペン先生
- スタードームづくり
- アンビシャス広場
- 子ども食堂



など



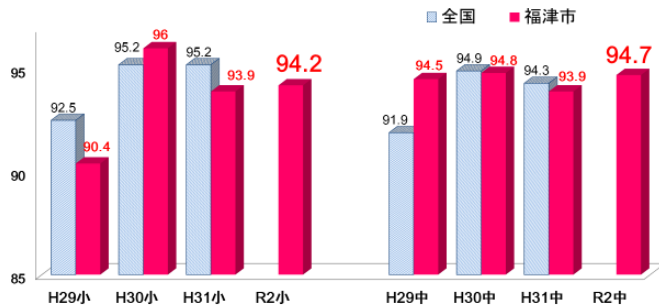
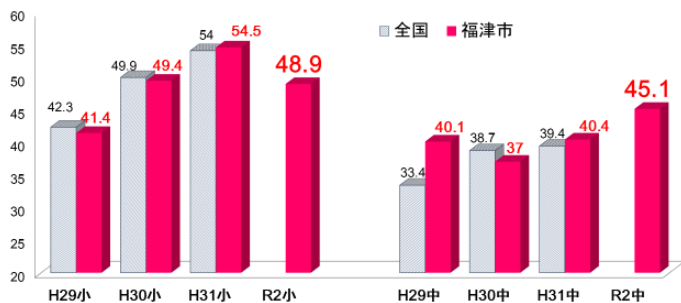
コミュニティ・スクールの成果

子どもたちの社会性や郷土愛

地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。
(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)

(令和2年度全国学力学習状況調査質問紙回答より)

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



これまでおよそ10年間、コミュニティ・スクールとして、地域を学び、地域に学び、地域とともに教育活動を進めてきました。上のグラフを見ると、地域や社会への貢献意欲は、小中学生ともに高まっています。特に、中学生は「人の役に立つ人間になりたい」が高い水準で推移しています。これは、学校だけではなく、地域や保護者の方との多くの関わりの中で育まれた者成果だと考えます。

市内全校には、「ふるさと学習」という、地域について学ぶカリキュラムが設定されており、毎年改善されながら、地域の人と関わり合う活動が続けられています。そこでは、地域コーディネーターが、学校と地域の連絡調整役なども行っています。その結果、令和2年度の地域・保護者の方々の教育活動への関わりは、のべ約4,000名になりました。地域の方々の関わりが増えることで、地域の方々の思いに触れ、子どもたちも地域貢献への気持ちが膨らみ、令和2年度は、小学生で415名、中学生では2,500名以上の地域貢献活動への参加がありました。

地域・保護者の教育活動への参加・協力

直接的な協力 1,708名

間接的な協力 2,240名

見守り隊 11,421名

(令和2年度ののべ人数)

児童生徒の地域貢献活動への参加

小学生 415名

中学生 2,541名

(令和2年度)

コミュニティ・スクールの未来に向けて

教育の成果は、すぐにあらわれることも、数値ではかることも難しいものです。

また、コミュニティ・スクールの「コミュニティ」には、このHPをご覧の皆さんももちろん含まれます。

これからも、福津の子どもたちに関わり、福津の良さを伝えながら、一緒に福津の未来を担う子どもたちを育てていただきますよう、お願いいたします。

中学生による3校合同海岸清掃



郷土を愛する心・ボランティア交流

福津市内の中学校へ
福間中学生会執行部

令和元年8月6日(月)
朝6:30

713名
(45%)参加